

第16回 北海道 小・中・高生 短歌コンテスト二次審査通過作品（通過222首中、入選以上を除く134首）

小学1～3年生の部

1	なつやすみおばあちゃんちをたんけんだいてみたいなひみつの3かい	石狩市立緑苑台小学校	1年	石坂 友絆
2	夏キャンプ川やトンネル石や星思い出たくさん道みんの森	札幌市立開成小学校	3年	松本 里桜
3	おもしろいにわにうえてるオジギソウさわってみるとパタンととじる	札幌市立札幌小学校	3年	坂上 結泉
4	かきごおりシロップかけてたべた夏パパといっしょにゴリゴリゴオリ	札幌市立新琴似南小学校	2年	白樫 怜奈
5	どこまでもつづいているね広い海青空みたいわくわくするよ	札幌市立桑園小学校	2年	安井 美貴
6	かんごしのしごとたいへんおかあさん家でもしごといつもありがとう	札幌市立西園小学校	2年	廣部 琴
7	お父さん食べたい食べたいうるさいなパンをほしがり子どもみただ	札幌市立日新小学校	3年	木島みずほ
8	足もとをザブンと大きなみさう海にかいがらなんこあるかな	札幌市立八軒北小学校	2年	工藤 祐惺
9	がんばってチャップンともぐるプールの水はなにに入ってなみだポロポロ	札幌市立八軒北小学校	2年	品野 由衣
10	楽しみだまちにまったよテストの日スイスイ泳ぎクロール合かく!!	札幌市立ひばりが丘小学校	2年	寺林 伶
11	ピチピチと手持ち花火は楽しいな赤青黄色夜さくお花	札幌市立元町小学校	3年	尾高 杏衣
12	むしあみであげはもんしろもんきちょうそつちかづきシュツとすばやく	札幌市立和光小学校	1年	田中 藤碁
13	たんじょうびろうそく7ほんきれいだなべんきょうなわとびがんばるからね	北海道教育大学附属札幌小学校	1年	松田 莉瑚

小学4～6年生の部

14	十五夜で月をながめる人たちはああきれいだと月を見ている	厚岸町立真龍小学校	4年	川村 頼人
15	おぼんでもあえないそふもほしぞらをいっしょにみてるいつもちかくで	江別市立中央小学校	5年	岡本 実孝
16	たのしみは夏の昼間に風鈴と風にゆられて夢を見る時	小樽市立奥沢小学校	6年	長峰 由晟
17	風を切り自転車こいでどこまでも入道雲をおともにつれて	札幌市立共栄小学校	6年	遠藤 理央
18	とびおきてめざまし止める光さすまぶたが重い月曜の朝	札幌市立幌北小学校	6年	橋谷田紗楠
19	鈴虫の音色とともにひびくのはわり算をとくぼくのえんぴつ	札幌市立琴似小学校	5年	山田 敬介
20	公園でころんだひざがしゃく熱だ砂まであつい三十度ごえ	札幌市立栄西小学校	4年	佐々竹可純
21	わんこはねしゃべれないけど黒の目で伝えてくるよいいたいことを	札幌市立札幌北小学校	5年	荒田 萌衣
22	さつまいも二つにわってもぐもぐとほおばり食べる食よくの秋	札幌市立札幌北小学校	5年	鈴木 笑
23	魚たちアプリで探す水族館待ち遠しいな沖縄旅行	札幌市立札幌北小学校	6年	齋藤 椋平
24	ドライブで厚田の海に行ってみて世界の広さ感動するよ	札幌市立篠路小学校	5年	高谷里桜奈
25	たのしいな家族みんなではこだてに縄文遺跡タイムスリップ	札幌市立篠路西小学校	6年	合田ひなた
26	また来るよ思い出いっぱい上富良野黒岳旭山ラベンダー畑	札幌市立新琴似小学校	4年	山口 楓月
27	道の駅オロロンライン夕日見てしずみぎわでもオレンジの空	札幌市立新琴似小学校	4年	渡辺 美菜
28	真夏日に釣り竿もって川遊び安春川でウグイ大漁	札幌市立新琴似小学校	6年	高橋 皇陽
29	マスクやけいっぱい外で遊んだ跡いまならではのいい思いで	札幌市立新琴似小学校	6年	土屋 陽
30	だんだんと距離が縮まる赤ちゃんと朝から晩まで追いかけてます	札幌市立新陽小学校	6年	岡本 采珠
31	白いたまてりつく日差しとおりにぬけぼくの夢のせ空にかがやけ	札幌市立新陽小学校	6年	坂東慶一郎
32	雪どけに足音軽くはずませて気もち高まる学校の道	札幌市立手稲鉄北小学校	6年	青木 愛莉
33	玄関で一人たたずむくつをはきとびらを開けて青空見つめ	札幌市立手稲鉄北小学校	6年	阿部 花音
34	台風がぼくより元気にやってきた所かまわず遊んで去った	札幌市立手稲鉄北小学校	6年	後藤 健心
35	夏休み家族みんなでカニつりだスルメたらすとカニが顔出す	札幌市立屯田南小学校	5年	木元しいか
36	弟はティラノサウルスきょうぼうだでもしているよやさしいことも	札幌市立西園小学校	4年	富樫梨衣沙
37	夏休み小指のうらがまっ黒だどりよくの成果実るといいな	札幌市立二条小学校	4年	佐々木遼平
38	つもる雪うれしくなっかけて出して小さなくつの足あとがつく	札幌市立羊丘小学校	5年	大江百合絵
39	徒競走なわとびソーラン運動会無観客でもエイエイオーと!!	札幌市立平岡南小学校	4年	小野 友楽
40	セミの声林にひびくミンミンとはやる気持ちをあみにたくして	札幌市立平岡南小学校	5年	北市 奏人

41	ぼくのためいっぱいいちご育ててるおばあちゃんちのまどのプランター	札幌市立福移小学校	4年	戸ノ崎圭剛
42	がたがたのミヤマクワガタ夜の森木の上の方やっと見つけた	札幌市立伏見小学校	6年	広瀬 遼太
43	キンキンだ口いっぱいほおぼって種がたくさんポポポポとばす	札幌市立北都小学校	5年	長谷川晴希
44	じめじめとぬれるあじさい輝く葉晴れた道路に映る虹色	札幌市立北都小学校	6年	藤見 祐花
45	雨上がり輝きだした紫陽花の光るステージ虫のコンサート	札幌市立北都小学校	6年	村上このみ
46	つかまえた手作りトラップカブトムシ両脚がちりバナナをつかむ	札幌市立本町小学校	4年	宮内 哲平
47	夜空には星がたくさんかがやいてぼくもかがやく星になりたい	札幌市立みどり小学校	4年	水戸 建心
48	ふうりんは風のささやき聞くとうぐ夏の始まり教えてくれる	札幌市立元町小学校	6年	尾高 佑宇
49	夏休み森林浴の山登り登山道にはセミの鳴き声	札幌市立山の手南小学校	4年	長堀 新
50	太陽をキラキラあびた野菜達すくすく育った夏のおいしさ	中富良野町立西中小学校	6年	田井萌乃香
51	海に行くみんなでやるのはすいかわりどっちだこっちだどうなるすいか	富良野市立扇山小学校	4年	今西 海依
52	帰り道えのころ草に気をとられ信号の色もうひとつまつ	富良野市立扇山小学校	4年	野口 瑛真
53	もうあきたマスク生活苦しいよはやくみたいなみんなの笑顔	別海町立別海中央小学校	4年	藤原 愛梨
54	青空に雲でえがいた作品は誰にもかけぬ生きた芸術	北海道教育大学附属札幌小学校	6年	平川 由奈
55	青い海キラキラ光るエメラルド波の思い出潮のにおい	室蘭市立天神小学校	6年	高橋 好誠

中学生の部

56	この夏はどうなることかこの暑さみんな魚になりたいと思う	旭川市立桜岡中学校	2年	山上 想太
57	ザーザーとコロナへの思い降ってきたいかりかなしみ天にあらわる	旭川市立中央中学校	2年	大山 晃輝
58	春来たるやさしい春風ふきぬけて揺れるは桜と君の黒髪	旭川市立中央中学校	2年	菊地 啓太
59	噛みしめる美味しいご飯と幸せを何げない日々私の宝物	旭川市立中央中学校	2年	木地優里菜
60	コロナ禍で変化していく日常で大事にしたい心の絆	旭川市立中央中学校	2年	小嶋 優希
61	なつやすみおわれてにげる課題から机に積もる罪悪感	旭川市立中央中学校	2年	小林 樹季
62	とどかない僕らはまるで酢と油そのまま終わる切ないピクルス	網走市立第三中学校	2年	板垣 晴
63	雨がっぱ着て走る子らの高い声飛んでは跳ねて遊ぶ雨音	安平町立早来中学校	2年	久米 花音
64	炎天下白球追って勝利まであとアウト一つ夢の舞台へ	石狩市立樽川中学校	2年	谷内 翔
65	夏の月美麗に見える月よりも雲に隠れる月もまたよし	石狩市立樽川中学校	2年	秦 日々輝
66	なつまつり屋台がならびゆかた着ていっきに味わう夏の気分	恵庭市立恵み野中学校	2年	伊藤 花恩
67	小説に夢中になるといつのまに我を忘れて喜怒哀楽	恵庭市立恵み野中学校	2年	川崎 桃雪
68	この前までチビだったはずの君はもう気づいたときには目線の上に	江別市立大麻東中学校	2年	室田実穂菜
69	忘れればいいんだよって言うように雨が突然ザーッと降った。	釧路市立共栄中学校	2年	土田拳志朗
70	スイッチオンプロペラ回り風が来る顔を近づけあーと叫ぶ	釧路市立共栄中学校	2年	藤吉 望来
71	美しい別保の緑の山々に囲まれ走るたくさんの鹿	釧路町立別保中学校	2年	西田 卿
72	ゲームをし気づかずすぎる夜の9時人生なんてそんなもんだよ	札幌市立札幌中学校	2年	坂東 湧泰
73	キハ40北の大地を駆け抜ける少しの残雪かき分けながら	札幌市立信濃中学校	2年	一條 諭介
74	響かせる硝子の少女オルゴール見た目と音色のハニートラップ	札幌市立東白石中学校	2年	有馬 聡穂
75	石造り小樽運河の倉庫から今も感じる大正ロマン	札幌市立東白石中学校	2年	前川 友汰
76	団結し深めたキズナくずさずに重ね続ける地層のように	札幌市立東白石中学校	2年	三上 莉緒
77	青空をつかんでいるのはひがん花その花朱く心は白日	札幌市立真駒内中学校	1年	青山壮太郎
78	夏休みめっちゃ暑くて溶けてきて休みの最後は皆スライム	札幌市立真駒内中学校	1年	浅野目陽奈
79	きをつけて悪口は凶器きけんだが正しく使えばことばは癒し	札幌市立真駒内中学校	1年	岩淵 愛翔
80	からころり硝子玉から覗く街硝子の塔で踊り続ける	札幌市立真駒内中学校	1年	橋本 彩桜
81	盤上で互いの心さぐり合う勝負のあとは絆深まり	札幌市立真駒内中学校	2年	小平 行真
82	函館の灯光る月の下山から望む星空夜景	札幌市立真駒内中学校	2年	三佐川 巧
83	帰り道友と見上げる空の青話したいこと話しはじめる	札幌市立宮の丘中学校	2年	風間 心花
84	カーテンを透かす光に目を覚ます青空見上げ今日の始まり	札幌市立宮の丘中学校	2年	小山明圭莉

85	つかれたよそのゆるみでエンドレス終わりが見えない感染拡大	札幌市立宮の丘中学校	2年	永山 優愛
86	足元でぽつぽつはじく水たまりかさをささずに静かに歩く	札幌市立宮の丘中学校	2年	三浦 帆南
87	気付いてよサイクリングで大転倒遠のく父の背中のロゴよ	札幌日本大学中学校	2年	大場 悠貴
88	映画より歴史の授業おもしろい古い時代の人の足跡	星槎もみじ中学校	1年	山岸 慶大
89	強い風ゆれる木ゆれる葉ゆれる枝おれない心で強く逞しく	伊達市立光陵中学校	2年	住吉 泰河
90	手のひらでにやあとないたその命ソファの上で強く陣どる	天塩町立天塩中学校	2年	長山 海音
91	遊ぶ時初めて言った僕の名前成長していた2才の妹	苫小牧市立明野中学校	2年	石塚 凌
92	種無しのおとうを一つ食べたのに種はいってて話がちがう	苫小牧市立明野中学校	2年	川添 ひな
93	学校に姉がいなくて気づくたび感じてしまう二歳差の壁	苫小牧市立明野中学校	2年	多田 結子
94	炎天下キレイに並んだたまねぎが水浴びしてるわたしも入れて	富良野市立麓郷中学校	3年	松下 絢葉
95	墓参り線香香る陸前の思いを馳せる伯父の面影	北海道教育大学附属札幌中学校	1年	関井 悠良
96	おこる母夕飯用の赤かぶに目と眉描けばよく似ているよ。	立命館慶祥中学校	2年	池田 真弥

高校生の部

97	とこしえの石に眠りし武士(もののふ)に想いを馳せ草いきれに酔う	旭川実業高等学校	1年	上野 未悠
98	一人では直せなかった僕の癖共に磨き合い目指せ全国	帯広北高等学校	1年	雨谷 侑哉
99	ありがとう家族に伝える普段より気持ちを込めた感謝の言葉	帯広北高等学校	1年	小田部聖洸
100	ペン持って机に向かう闘志燃え私の相手は睡魔と関数	帯広北高等学校	1年	中川 優
101	がんばって家族が言ったその言葉落ちこんだ日も前向きになれる	帯広北高等学校	1年	宮下 真虹
102	寮生活親と離れて早一年少しは成長してるといいな	帯広北高等学校	2年	杉井 颯
103	待ち合わせ待たされつつも「今来たの」ポンツと音鳴るラムネ片手に	帯広北高等学校	2年	田中 陸
104	授業中気づくと書いてる日々の不満消した時には心晴れやか	帯広北高等学校	2年	豊嶋 涼花
105	あの人と初めて出かけた真夏日の顔のほてりは暑さのせいかな	帯広北高等学校	2年	南出 琴音
106	駅の中貴方に出会うそのためにただひたすらに行ったり来たり	帯広北高等学校	2年	渡邊 紗菜
107	3年間3分の2はコロナ禍のマスク生活もうなれました	帯広北高等学校	3年	小野瀬愛弓
108	夢叶え親に感謝を伝えたいなってみせるぞ理学療法士	帯広北高等学校	3年	谷口 陽星
109	人生に夢へと決めた進路先咲かせてみせる希望の先へ	帯広北高等学校	3年	服部さくら
110	涼求め講習終わりに買うアイス開ける刹那に溶ける切なさ	市立札幌藻岩高等学校	2年	齊藤 愛実
111	卓球の練習試合容赦なし私を狙う目ヒグマのようだ	とわの森三愛高等学校	3年	岸本 秋
112	ぽつぽつと雨が地面におちていくみんなの手に咲くからふるな傘	北海道小樽未来創造高等学校	1年	北島 優花
113	陸上で全力で走る百メートル自己ベスト目指し競い合う友	北海道小樽未来創造高等学校	1年	工藤 奏希
114	夏休みあの子と行ったペンギンショーペンギンよりもあの子を見てた	北海道小樽未来創造高等学校	1年	佐々木義成
115	夏の海サイダー色の空の下海水浴で潮水あじわう	北海道小樽未来創造高等学校	1年	平野 実桜
116	生活ががらっと変わりこのご時世いったい誰が悪いんだろう	北海道小樽未来創造高等学校	1年	古山 由乃
117	忙しく過ごす毎日好きだけどそろそろ充電ゼロパーセント	北海道小樽未来創造高等学校	2年	岡田 姫華
118	ありがとういつでも言えるこの言葉日常と書きしあわせと読む	北海道小樽未来創造高等学校	2年	平松 志温
119	風鈴の音鳴り響く堺町観光客とロマンあふれる	北海道小樽未来創造高等学校	3年	伊藤 萌加
120	花火の火見ながら思うこの気持ち言えないままでこの夏終わる	北海道小樽未来創造高等学校	3年	上村 梨乃
121	消えてゆくソーダがはじける泡のよう暑ささる頃離れる二人	北海道小樽未来創造高等学校	3年	北 希香
122	頑張れとくしゃって君が笑うから言われなくても強がる背中	北海道小樽未来創造高等学校	3年	佐々木優乃
123	追いかけて己のために手をのばすコートにひびく一点の音	北海道小樽未来創造高等学校	3年	千葉啓太郎
124	夏終わり肌寒い風身に染みて進路活動不安が募る	北海道小樽未来創造高等学校	3年	本荘 梨紗
125	肩下に伸びた髪の毛くったら涼しく見えたきれいなうなじ	北海道小樽未来創造高等学校	3年	村井 咲花
126	旋盤で汗が滴る作業服脱いでみたいが安全第一	北海道小樽未来創造高等学校	3年	目黒 輝
127	「つかまえた」夜空に散った星屑をすくって見せた君の横顔	北海道小樽未来創造高等学校	3年	吉田 樹
128	夏の海静かに語る波の音が祖父との思い出また来年ね	北海道小樽未来創造高等学校	3年	和賀 達也

129	ぬくぬくと二度寝している友達を関節技で起こす夏の日	北海道釧路工業高等学校	1年	橋本 晃太
130	幸せだあふれる想い飲みこんで紙飛行機飛ばす君のあたりに	北海道釧路湖陵高等学校(定時制)	4年	尾形 優希
131	携帯の画面見ながら考える君と会える日いつになるのか	北海道釧路商業高等学校	2年	板垣 実夢
132	望んでた青春の日が壊れてく許せぬ病負けない気持ち	北海道釧路商業高等学校	2年	佐藤 武琉
133	寝れずに明け方に見た朝焼けの雲の織り成す赤いドラゴン	北海道札幌白石高等学校	3年	吉田 基矢
134	消しゴムが数十億トンあったならこの世のぴえん全て消します	北海道札幌西高等学校	2年	三浦 暖陽